

サン＝サーンス
交響曲第3番 ハ短調Op.78, R.176*

Vol.12

「オルガン付」

ベルリオーズ

序曲「ローマの謝肉祭」Op.9

ストラヴィンスキー

バレエ音楽「火の鳥」組曲
(1919年版)



管弦楽 セントラル愛知交響楽団



指揮

松尾 葉子
(特別客演指揮者)



オルガン

吉田 文*

2025.10/18(土) 14:30開演
(13:45開場)
14:10~ プレトーク

愛知県芸術劇場 コンサートホール
TEL(052)971-5511 名古屋市東区東桜一丁目13番2号(地下鉄「栄」駅下車徒歩5分)

チケット料金(税込)/全指定席(未就学児入場不可) 発売日 一般 6/25(水)10:00~<会員先行6/23.24>

S席5,000円(ペア席7,000円)・A席4,000円(ペア席5,600円)・B席3,000円・C席2,000円/U25 各席半額 [ペア席対象外]

※ペア席は前売のみ、数量限定。 ※U25は公演当日25歳以下対象・入場時要証明書

※車椅子席は当団事務局のみの取扱い。

※当団会員様は会員先行発売・会員割引価格でのご購入が可能。

[当団事務局・チケットシステムでの購入時、ペア席・U25は割引対象外]

※演奏順不同。やむを得ない事情で公演の中止または出演者・曲目が変更になる場合がございます。

お申込み
お問合せ

セントラル愛知交響楽団

TEL052-581-3851 <https://www.caso.jp>

(10:00~17:30 土日祝休) ※チケットはホームページからお申込みいただけます。



主催/公益社団法人セントラル愛知交響楽団
後援/愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会

プレイガイド

・愛知芸術文化センタープレイガイド TEL052-972-0430
・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード 287-413]

セントラル愛知交響楽団 超!有名曲シリーズ

Vol.12

《フランス文化の煌めき》

初めてサン＝サーンスの交響曲を指揮したのは、東京藝大指揮科の卒業試験でした。ドイツ人作曲家の交響曲とは音楽言語が違うと思いました。オーケストラの音がホールで舞うように鳴り響き、荘厳なオルガンの音色と相まって輝くような世界を体験します。パリ留学中にノートルダム寺院で聴いたオルガンの感動的な響きは忘れられません。ベルリオーズの序曲「ローマの謝肉祭」、そしてパリで大成功を取めたストラヴィンスキーの「火の鳥」、3人の作曲家それぞれのオーケストラの華麗で見事な響きをご堪能ください。

セントラル愛知交響楽団特別客演指揮者 松尾葉子

指揮:松尾 葉子 (特別客演指揮者)

Yoko Matsuo

1982年フランスのプザンソン国際指揮者コンクールで女性として史上初、また日本人としては小澤征爾について二人目の優勝という壮挙により、一躍注目を集める。名古屋生まれ。1981年国際ロータリー財団の奨学生としてフランスに留学、パリ・エコールノルマル音楽院指揮科でピエール・デルヴォー氏に師事。1983年『若い芽のコンサート』でNHK交響楽団を指揮。1984年二期会公演の『メリー・ウィドウ』を指揮してオペラデビュー。1999年セントラル愛知交響楽団の常任指揮者に就任。2001年ニューヨーク・カーネギーホールにてベートーヴェンの第九を指揮。2017年1月にはアムステルダム・コンセルトヘボウにて「ヴェルディ:レクイエム」を演奏し、好評を博す。平成28年度愛知県芸術文化選奨を受賞。著書「指揮者にミュージアムが微笑んだ」(2003年論創社)、「指揮者、この瞬間」(2008年樹立社)がある。東京藝術大学指揮科教官を30年間務める。2015年～2020年まで愛知県立芸術大学客員教授。海外での活躍は1982年以来、プザンソン交響楽団、パリ・ラムルー管弦楽団、ベルギー・ブリュッセルの放送オーケストラのコンサート、録音等を手掛ける。現在、セントラル愛知交響楽団特別客演指揮者。トリフォニーホール・ジュニアオーケストラ創立案督指揮者。2022年から「超!有名曲シリーズ」のメイン指揮者に就任。

公式ホームページ <https://yoko-matsuo.com/>

オルガン:吉田 文

Aya Yoshida

名古屋生まれ。幼少よりオルガニストを志し、中学卒業と同時に単身渡独。ドイツ国立ケルン音楽大学カトリック教会音楽科、並びにパイプオルガン演奏科を卒業。ドイツ国家資格A級教会音楽家、ドイツ国家演奏家資格取得。2006年より活動の拠点を日本に移し、パイプオルガンと教会音楽文化の普及に力を入れている。ベルリン・コンツェルトハウスを始めとするヨーロッパ諸国のオルガンコンサート、フェスティバル等から多々招聘を受けている他、オーケストラ、合唱、諸編成アンサンブルのパートナーとしても定評がある。米、豪、独などの現地専門誌で高評価を得たCD「Streiflichter」の他、ニューヨークのzoho社からリリースされた「Fantasy 1720」など5枚のCDを制作。名古屋音楽大学、南山大学非常勤講師。南山大学エクステンションカレッジ講師。「名古屋オルガンの秋」主宰。平成27年度名古屋市民芸術祭特別賞受賞。令和3年度名古屋市芸術奨励賞受賞。

管弦楽:セントラル愛知交響楽団

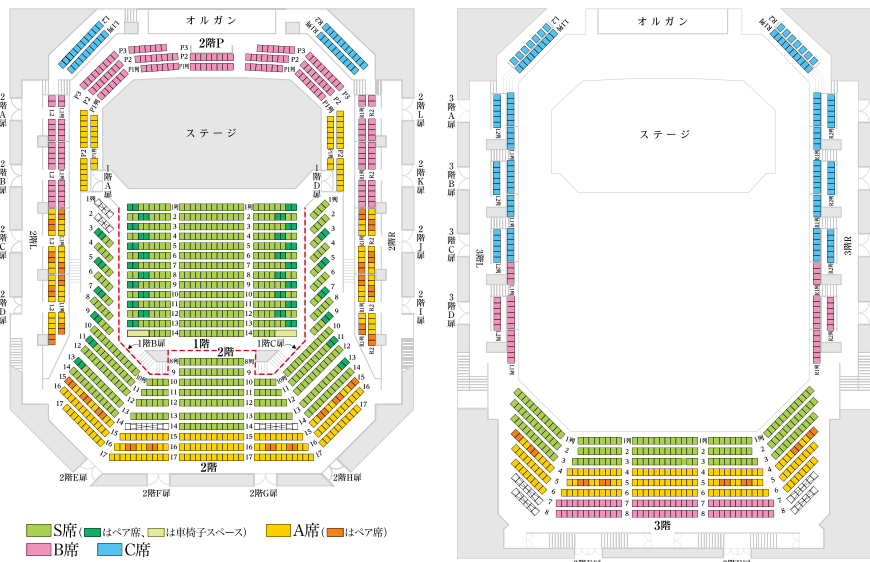
Central Aichi Symphony Orchestra

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。1997年に現名称に改名。2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2023年40周年を迎えた。2024年4月より名古屋出身の角田鋼亮が音楽監督に就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、第九公演の他「超!有名曲」「Wコンチェルト」等のシリーズを自主公演として展開。バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。

客席のご案内

1・2階席

3階席



セントラル愛知交響楽団 超!有名曲シリーズ

■ Vol.13

2026.2/28(土) 14:30開演

指揮/小松長生(桂冠指揮者)

シューベルト:交響曲第7番ロ短調D759「未完成」

ベートーヴェン:交響曲第5番ハ短調Op.67「運命」

ドヴォルザーク:交響曲第9番ハ短調Op.95 B.178
「新世界より」

一般発売 12/3(水) [会員先行12/1.2] 10:00 ~